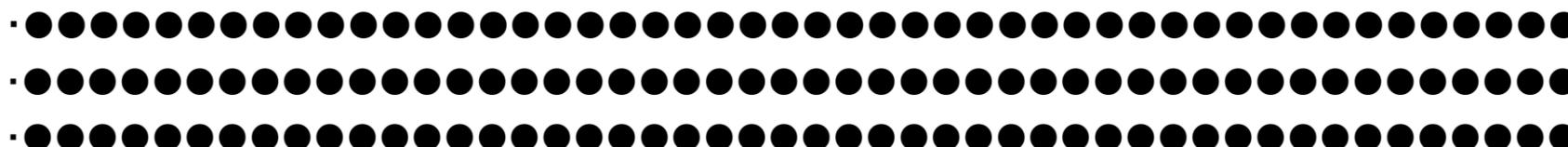


分野別
将来像

だれもが安心して子どもを産み、
育てることができる喜びを実感できるまち

《将来像に込められたあるべきまちの姿》



《将来像につながるキーワード》

調布で子どもを産み・育てたい, 子どもを産み・育てやすい, 切れ目のない支援, 様々な主体との連携・協力

まちづくりの
方向性と
基本的取組

①様々な主体が連携した「調布で子どもを産みたい・育てたい」と思えるまちづくり

- ◆市民にとって身近な場所で, 子育てに関する包括的な支援サービスの充実を図ります。
- ◆「子どもを産み, 育てやすいまちづくり」を推進することで, 調布の子育て環境の良さを市内外に効果的にPRします。
- ◆家庭内だけの孤独な子育てをなくし, 子育て家庭が親子で集まり, 相談や情報交換, 交流ができる場所や機会の充実を図ります。

②だれもが安心して子どもを産み, 育てることができる切れ目のない支援環境の充実

- ◆行政と民間が密に協力・連携しながら, 子ども・子育て施設の整備充実や多様なサービスの提供を推進します。
- ◆子育てに対する市民の寛容さの醸成を目的とした広報・啓発活動を推進します。
- ◆妊娠期からの早期支援, 子どもの発達段階に応じた各種健診や予防接種事業の円滑な実施, 出産前後の家庭への訪問及び相談等の取組をきめ細かに実施します。

③特別な支援を必要とする子どもや家庭への支援の充実

- ◆ひとり親家庭が必要な支援に確実につながるよう, 関係機関との連携・協力体制を強化しながら, 相談支援の充実を図るとともに, 経済的な支援を実施します。
- ◆児童虐待防止センターや子育て世代包括支援センターの機能を活かし, 虐待の予防や早期発見・早期対応に努めます。

現状と
課題

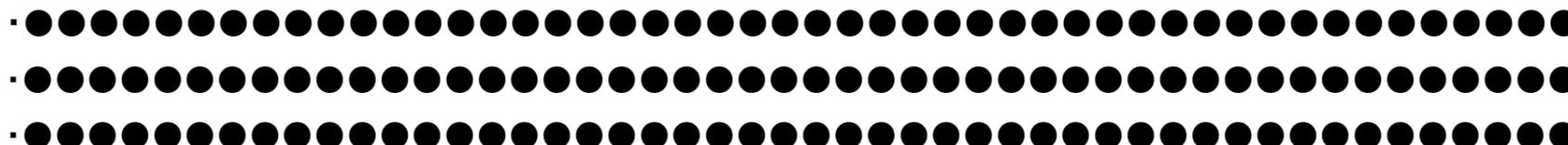
| 強み(良いところ, 伸ばしたいところ) | 弱み(悪いところ, 改善したいところ) |
|--|--|
| ○子ども家庭支援センター「すこやか」など, 子育てに関して相談ができる場所・団体が多く充実している ○子育てに関する情報の提供源が増えてきた ○ひとり親家庭への支援が充実している, 他 | △出産前からの切れ目のない支援が不足している △0~2歳児の保育園への入園が難しい △子育てに関して相談できる場所・団体が多く充実しているが, 広報が十分のために知らない人が多い, 他 |

※斜体は, 関連する個別計画等を踏まえ, 追記した内容です。

分野別
将来像

〇〇な子どもたちが, 〇〇〇〇し,
〇〇〇〇に成長できるまち

《将来像に込められたあるべきまちの姿》



《将来像につながるキーワード》

互いのよさや違いを認め合う, 安全・安心な学校づくり, 子どもが活躍できる場づくり

まちづくりの
方向性と
基本的取組

①子どもたちが互いに尊重し, 認め合い, 支え合うことができる心の壁のない環境づくり

- ◆児童・生徒が自分と他者の違いを自然に受け入れ, 多様性について「気づき」を得られる交流機会や教育体制の充実を図ります。
- ◆年齢差, 能力差, 障害等に対する心理的な壁を感じることはない教育を推進します。
- ◆全ての児童・生徒が, 自己の能力を発揮し, 生き生きと学校生活を送ることができるよう, 個に応じた教育を推進します。

②学び・食・遊び等を通じて, 子どもたちが安心して学校生活を送ることができる環境づくり

- ◆食物アレルギーをもつ児童・生徒が多くいることを前提とした給食の提供や, アレルギーに関する教育・研修プログラムの充実を図ります。
- ◆児童・生徒が良好な環境の中で学習できるよう, 計画的に学校施設の整備を推進します。

③子どもたちが安全に過ごすことができる, 地域に開かれた学校づくり

- ◆学校のセキュリティを保ちつつ, 地域に開かれ, 地域との協働による学校づくりを推進することで, 地域コミュニティの重要性と学校のセキュリティをバランスよく両立させます。
- ◆学校に限らず, 児童・生徒が過ごす場所におけるバリアフリーの徹底を図ります。
- ◆農業体験や環境美化活動など, 地域の特性を活かした教育プログラムを推進します。

④18歳以上を含めた若い世代が, いきいきと交流し, 活躍できる場づくり

- ◆若い世代が互いに共感を得ることができるよう, 相談し合える仕組みづくり, 困難を抱える青少年がいつでも相談できる場の拡充を図ります。
- ◆若い世代が行政計画や地域の取組に参加しやすい環境を整えます。
- ◆若い世代が地域に誇りを感じられるような大規模イベントを促進します。
- ◆多分野で活躍できる「人財」を生み出すため, 若い世代の人財育成を推進します。

現状と
課題

強み(良いところ, 伸ばしたいところ)

- 中学生・高校生向けの児童館として青少年ステーション CAPS がある
- 全ての学校及びその付近において, 放課後子供教室事業(ユーフォー)を実施している
- 児童・生徒の安全・安心を確保するための取組, 他など

弱み(悪いところ, 改善したいところ)

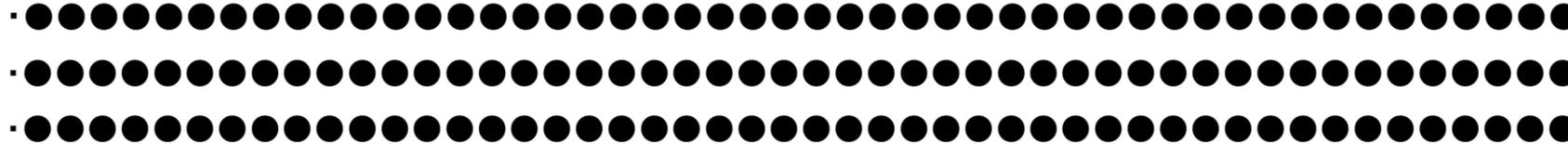
- △児童・生徒が多様性を認め合える教育が十分にできていない
- △児童・生徒数の増加に伴う教室の整備, 一人ひとりと向き合う時間の確保
- △学校施設の老朽化が進んでいる
- △18歳以上の若者に対する支援が弱い, 他

※斜体は, 関連する個別計画等を踏まえ, 追記した内容です。

分野別
将来像

市民一人ひとりが多様性を尊重し、 共に認め合い、支え合うまち

《将来像に込められたあるべきまちの姿》



《将来像につながるキーワード》

多様性, 認め合い, 支え合い, 助け合い, 活力や安らぎ, 共生社会の実現, 住民同士の交流や参加の場

まちづくりの
方向性と
基本的取組

①〇〇〇〇の充実（高齢者福祉）

- ◆〇〇〇〇だけではなく、ケアラー（〇〇〇）の身体的・精神的負担を緩和するための支援の充実を図ります。
- ◆高齢者が要介護状態になっても、望む場所で安心して生活できるよう、状態の変化に応じて、切れ目なく必要なサービスを提供する地域包括ケアシステムの充実を図ります。
- ◆虐待防止や早期発見にも結びつくよう、地域との連携・協力のもと、高齢者が地域の中で安心して暮らし続けられる見守り体制の充実を図ります。

②〇〇〇〇の促進（高齢者福祉）

- ◆だれもが自由に交流したくなる、大きく広い「間口」を持った居場所づくりを推進します。
- ◆引き続き、これまでの介護予防事業を継続的に実施するとともに、より多くの高齢者に介護予防や健康づくりに取り組んでもらえるよう、さらに新しい介護予防事業の強化を図ります。
- ◆高齢者や障害者を含め、だれもが安心して外出し、行きたい場所まで移動できるよう、歩道や道路の整備を推進します。

③〇〇〇〇を支える環境づくり（障害者福祉）

- ◆障害を抱える方だけではなく、難病の方にも配慮した共生社会の実現に向け、「最も困っている人が生活しやすいまちづくり」が住民の共通の課題認識となるよう、意識の醸成を図ります。
- ◆障害のある方とその家族からの相談に応じ、他分野の機関とも連携・協力しながら、ライフステージに応じた必要な支援、サービス等へ着実につなげていきます。
- ◆障害のある方が地域社会の一員として、生きがいを持ちながら豊かに暮らせるよう、就労支援や社会参加を促進します。

④地域での関りを深め、助け合えるまちづくり（地域福祉）

- ◆子育てをはじめ、地域社会の多様なニーズの解決に向けて対応する様々なコーディネーターを身近な場所に配置します。
- ◆活力や安らぎを得ることができ、活力や安らぎが連鎖する居場所づくりを推進します。
- ◆自然災害や犯罪行為など、いざという時に備え、地域内で互助・共助の連携が速やかに図れるよう、住民一人ひとりの意識を醸成しながら、お互いに協力して助け合える仕組みの強化を図ります。

現状と
課題

| 強み（良いところ、伸ばしたいところ） | 弱み（悪いところ、改善したいところ） |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○他自治体に比べて、地域福祉コーディネーターや地域支え合い推進員など、地域福祉に関わる専門職が多い ○地域社会や公的サービスによる、支援が必要な方への見守り体制が充実している ○行政が対応しきれない部分を、社協などの関係機関がカバーしている、他 | <ul style="list-style-type: none"> △高齢者への生活支援サービスが他の自治体に比べて不十分 △ヤングケアラーへの支援（特に精神面）がない △障害者への理解を醸成するための取組は不足している △地域住民同士がつながりを得られる機会が少ない、他 |

※斜体は、関連する個別計画等を踏まえ、追記した内容です。